NiX JAPAN GROUP

SOCIAL DESIGN INNOVATOR

NiX JAPAN GROUP

NiX JAPAN グループ株式会社

東京本社　〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目5番12号
TEL 03-6802-8876

富山本店　〒930-0857 富山県富山市奥田新町1番23号
TEL 076-464-6520

https://nix-japan-group.co.jp
NIX JAPAN GROUP

https://nix-japan.co.jp
NIX JAPAN

ANNUAL REPORT 2026

TOP MESSAGE トップメッセージ

日頃より、NiX JAPANグループに温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

NiX JAPANグループは、建設コンサルタント事業を基盤に、DX、エネルギー、海外事業へと領域を広げ、グループとして着実な成長を続けてまいりました。

2025年には、持株会社「NiX JAPANグループ株式会社」を設立し、新たなグループ経営体制をスタートしました。各社が持つ技術、人材、ノウハウを結集し、グループの総合力をさらに高めることで、新たな成長につなげてまいります。

社会や事業環境が大きく変化する中、私たちに求められる役割も広がっています。これまで培ってきた技術力を礎に、デジタル技術の活用や再生可能エネルギー、海外事業など、それぞれの領域で新たな価値の創出に挑戦してまいります。

今後も、中期経営計画「X DAYS」のもと、各戦略を着実に推進し、グループの持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。引き続き、皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

NiX JAPANグループ株式会社
代表取締役社長　市森 友明



CONTENTS 目次

TOP MESSAGE トップメッセージ……01
GROUP PROFILE NiX JAPAN グループ概要……02
FINANCIAL HIGHLIGHTS 業績ハイライト……03
FY2026 HIGHLIGHTS FY2026 主な取り組み……05
MID-TERM MANAGEMENT PLAN X DAYS 中期経営計画「X DAYS」……06
CORPORATE PROFILE 会社概要・役員・組織……07
NiX JAPAN CORPORATE INFORMATION NiX JAPAN 会社情報……09

GROUP PROFILE NiX JAPANグループ概要

NiX JAPAN GROUP

技術をつなぎ、事業をつなぎ、社会の未来をつくる。

NiX JAPANグループは、建設コンサルティングを中核に、グループ各社が持つ技術・知見・事業を掛け合わせ、社会や地域が抱えるさまざまな課題の解決に取り組んでいます。既存の領域にとらわれず、新たな価値を生み出し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

GROUP COMPANIES
22社

EMPLOYEES
659名

GROUP SALES
114億円

NiX JAPANグループ株式会社

エネルギー事業・海外事業 セグメント
- ニックスニューエネルギー㈱
  - エネルギー事業各社
  - 海外事業各社

インフラ技術サービス事業 セグメント
- NiX JAPAN㈱
  - インフラ技術サービス事業各社

DX サービス事業 セグメント
- NiX RiSE㈱
- クェスタ㈱

エネルギー事業・海外事業

海外の水力発電・LPG等を軸に展開するエネルギー領域に注力し、成長ドライバーとしての収益基盤を確立

インフラ技術サービス事業

高収益案件の獲得とストック型ビジネスの拡大を進め、グループの安定成長を牽引する中核事業として深化

DX サービス事業

クラウド・AIなどのIT技術を展開し、既存ビジネスの高度化と新領域の収益化を両立

FINANCIAL HIGHLIGHTS 業績ハイライト

NiX JAPANグループ 業績ハイライト

2026年6月期は、売上高114.5億円（前期比14億円増、14.2％増）、営業利益14.0億円（同3億円増、33.3％増）、当期純利益10.9億円（同6億円増、159.5％増）となりました。インフラ技術サービス事業が安定した収益基盤を維持するなか、インドネシアを中心とするLPG事業の伸長や水力発電事業の安定稼働により、グループ全体で増収増益を達成しました。

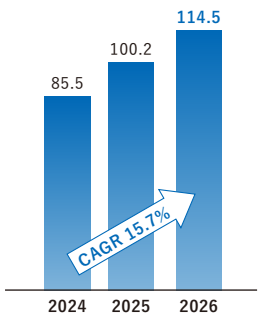
連結業績の推移

（億円）

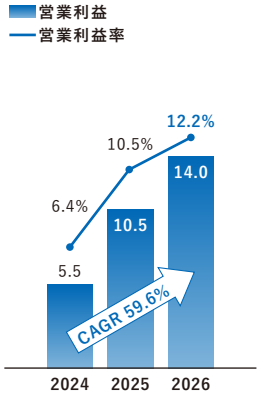
	FY2024	FY2025	FY2026	YOY増減
売上高	85.5	100.2	114.5	14.2%
営業利益	5.5	10.5	14.0	33.3%
営業利益率	6.4%	10.5%	12.2%	1.7pt
経常利益	8.1	6.8	15.9	133.8%
当期純利益	3.9	4.2	10.9	159.5%
EBITDA	9.5	14.8	19.6	32.4%

グループ成長トレンド

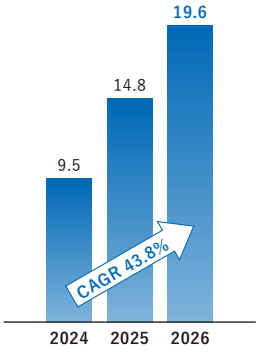
売上高（億円）



営業利益・営業利益率（億円）



EBITDA（億円）



NiX JAPAN 業績ハイライト

2026年6月期は、売上高56.6億円（前期比5.5億円増、10.8％増）、営業利益3.9億円（同0.5億円増、14.7％増）、EBITDA4.5億円（同0.6億円増、15.4％増）となりました。受注面では、受注高が前期比8.6％増と堅調に推移したほか、受注残高も前期を上回るなど、安定した事業基盤を確立しています。

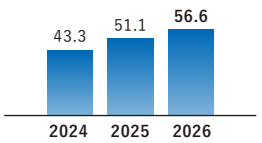
主要経営指標の推移

（億円）

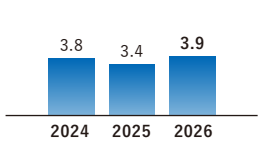
	FY2024	FY2025	FY2026	YOY増減
売上高	43.3	51.1	56.6	10.8%
営業利益	3.8	3.4	3.9	14.7%
EBITDA	4.3	3.9	4.5	15.4%
純資産利益率（ROE）	28.0%	26.5%	24.6%	▲1.9pt
総資産利益率（ROA）	9.5%	10.5%	9.8%	▲0.7pt
受注高	45.2	53.6	58.2	8.6%
受注残高	22.6	24.7	25.5	3.2%

NiX JAPAN 成長トレンド

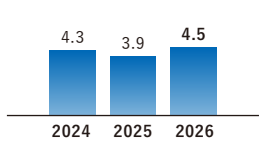
売上高（億円）



営業利益（億円）



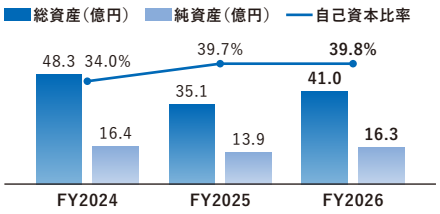
EBITDA（億円）



財務基盤

（億円）

	FY2026
総資産	41.0
純資産	16.3
自己資本比率	39.8%



FY2026 HIGHLIGHTS FY2026 主な取り組み

01 GROUP | グループ新体制

NiX JAPANグループ、新たな体制へ

2025年、持株会社「NiX JAPANグループ株式会社」を設立し、新たなグループ経営体制をスタートしました。グループ各社の強みや専門性を活かしながら連携をさらに深め、経営基盤の強化と持続的な成長を目指します。

02 INFRA | 技術・プロジェクト

持続可能な橋梁メンテナンス「高岡モデル」が評価

高岡市・横浜国立大学と連携して取り組む「高岡モデル」が、土木学会2025年度「インフラメンテナンス チャレンジ賞」を受賞。橋梁点検の合理化によるコスト縮減と、自治体主体による持続可能な維持管理体制の構築が評価されました。

03 DIGITAL | デジタルサービス

下水道維持管理DX「すいクラ」の展開を強化

下水道管路の老朽化や道路陥没リスクが社会課題となる中、下水道維持管理クラウドサービス「すいクラ」の展開を強化。点検・台帳管理から調書作成、ストックマネジメントまでを一元化し、維持管理の効率化と予防保全、計画的な設備更新を支援します。

04 GLOBAL & ENERGY | 成長領域

海外事業の成長と収益基盤の強化

LPガス充填販売事業では目標としていた月商1億円を早期に達成し、事業規模を拡大。屋根置き太陽光発電事業や電動二輪車事業では、更なる事業規模の拡大と価値創出に向け、大手商社や金融機関が出資参画。また、投資アドバイザリー事業による収益の拡大など、各事業の成長を通じて、NiX JAPANグループの成長ドライバーとして収益基盤を強化しています。

05 BRAND & SOCIAL | 社会からの評価

社会からの評価

富山市ブールバール広場再整備が「2025年度グッドデザイン賞」を受賞。また、「えるぼし認定」2段階目を取得、「DX認定」を更新するなど、事業・組織・DXの各分野で取り組みが評価されました。

GOOD DESIGN

DX認定

MID-TERM MANAGEMENT PLAN X DAYS 中期経営計画「X DAYS」

NiX JAPANグループは、さらなる成長に向け、中期経営計画「X DAYS」を推進しています。グループ各社の強みを結集し、既存事業の深化と成長領域への挑戦を通じて事業基盤をさらに強化。FY2031の売上高164億円を目指し、持続的な成長と企業価値の向上に取り組みます。

FY2031 TARGET　売上高 164億円

01 | iNFRA TEC × Ai TECによる成長

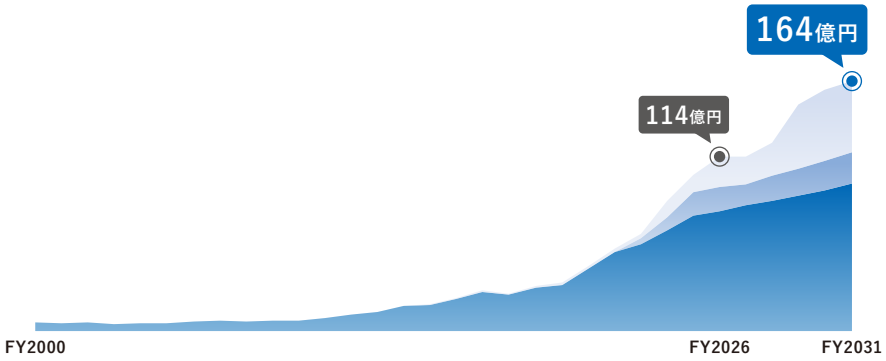
土木技術とIT技術の融合で新たな価値を創出し、社会インフラの共通基盤を構築・提供する存在「次世代型インフラマネジメントプラットフォーマー」を目指します。

02 | エネルギー事業×海外事業の成長

国内で蓄積したエネルギー事業のノウハウをもとに、インドネシアにおいて水力発電所を開発し、収益性を拡大。インドネシアでの実績をもとにLPG事業や投資事業などストック型ビジネスの多角展開を図ってまいりました。今後は、海外事業を成長ドライバーとして、更に比重を高めていきます。

03 | グループ再編 × 人材投資による成長

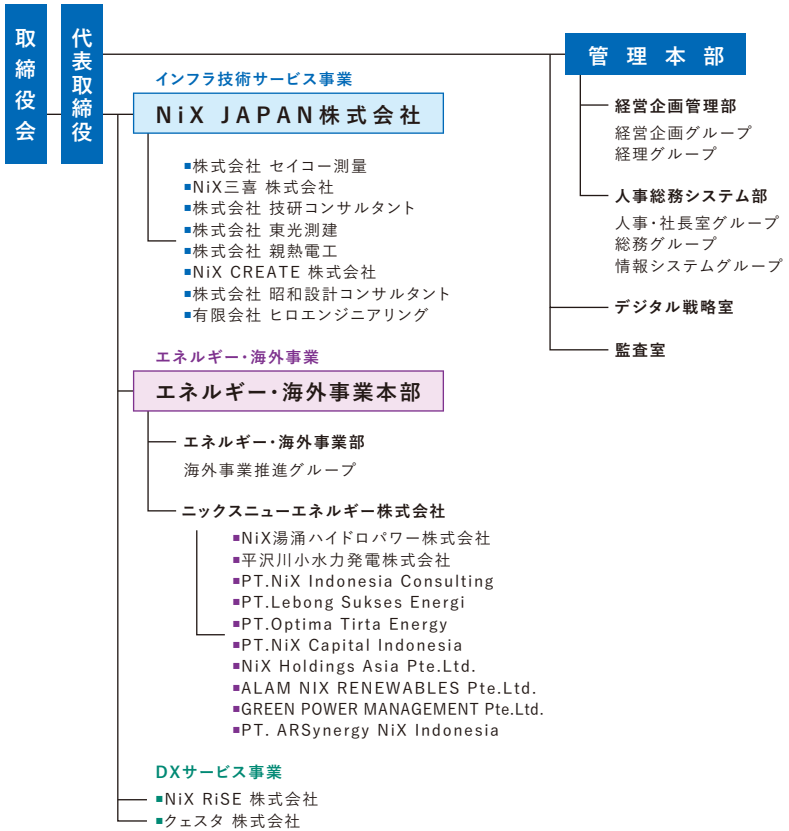
“人”を成長の原動力と捉え、人事戦略の強化とグループ経営体制の再設計を推進。持株会社であるNiX JAPANグループ株式会社が全体を統括し、グループ各社の力を最大限に引き出す経営基盤の構築を進めます。



CORPORATE PROFILE 会社概要・役員・組織

商号	NiX JAPANグループ株式会社 （NiX JAPAN GROUP Co.,Ltd.）	NiX JAPAN株式会社 （NiX JAPAN Co.,Ltd.）
代表者	代表取締役社長　市森 友明	代表取締役社長　市森 友明
設立	2025年4月	1979年4月
所在地	東京本社 東京都千代田区東神田二丁目5番12号 富山本店 富山県富山市奥田新町1番23号	東京本社 東京都千代田区東神田二丁目5番12号 富山本店 富山県富山市奥田新町1番23号
従業員	連結　659名	300名
ホームページ	https://nix-japan-group.co.jp/	https://nix-japan.co.jp/

GROUP STRUCTURE｜グループ構成



BOARD OF DIRECTORS｜取締役体制



代表取締役社長
市森 友明
●グループ経営統括
●NiX RiSE株式会社

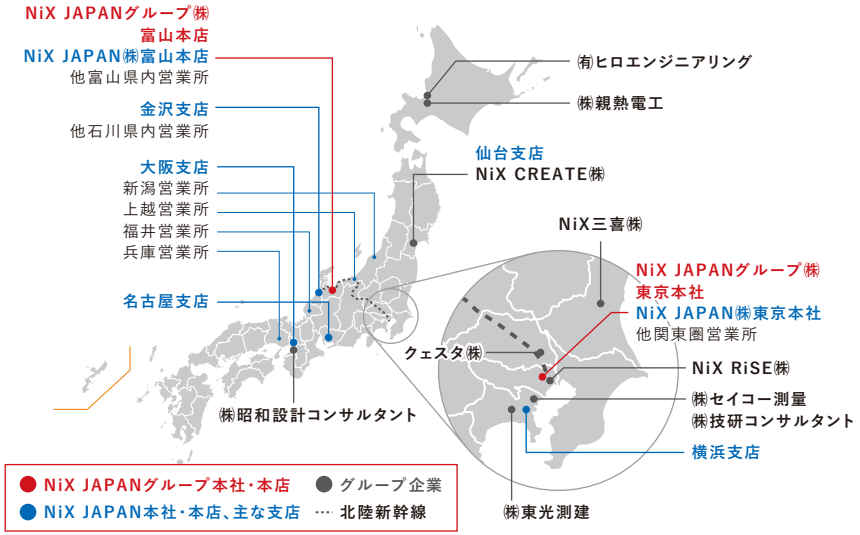


取締役執行役員
芳尾 航
●エネルギー・
海外事業



取締役執行役員
山田 准司
●管理本部
●クェスタ株式会社

GLOBAL NETWORK｜国内・海外拠点





MANAGEMENT | 取締役・執行役員

肩書		氏名
代表取締役社長		市森 友明
取締役常務執行役員	社会基盤系事業統括本部 統括本部長	富田 邦裕
取締役執行役員	首都圏営業本部 本部長	真田 浩幸
取締役執行役員		芳尾 航
取締役執行役員	管理本部 本部長	山田 准司
執行役員	社会基盤系事業統括本部 シニアテクニカルアドバイザー 兼 技術推進室 室長	阿曽 克司
執行役員	北陸地区営業本部 本部長	小坂 由紀夫
執行役員	交通インフラ事業本部 本部長	和田 英俊
執行役員	都市政策・デザイン事業本部 本部長	高橋 敬宗
執行役員	流域保全本部 本部長	升方 祐輔
執行役員	上下水道技術本部 本部長	牧田 哲郎
執行役員	デジタル戦略室 室長	佐治 秀哉

PROFESSIONALS | 有資格者

資格	部門	科目	人数	
技術士	建　設	河川、砂防及び海岸・海洋	12名	95名
		道路	16名	
		都市及び地方計画	13名	
		土質及び基礎	3名	
		鋼構造及びコンクリート	7名	
		トンネル	2名	
		建設環境	5名	
		施工計画、施工設備及び積算	1名	
	上下水道	上水道及び工業用水道	3名	
		下水道	9名	
	農　業	農業農村工学	2名	
	環　境	環境保全計画	1名	
		自然環境保全	2名	
	森　林	森林環境	1名	
	電気電子	電気設備	1名	
	総合技術監理		17名	
RCCM		河川、砂防及び海岸・海洋	7名	40名
		港湾及び空港	1名	
		道路	8名	
		上水道及び工業用水道	1名	
		下水道	2名	
		土質及び基礎	3名	
		鋼構造及びコンクリート	10名	
		建設環境	1名	
		都市計画及び地方計画	3名	
		トンネル	1名	
		建設情報	1名	
		地質	1名	
		電気電子	1名	
博士		工学	5名	8名
		学術	2名	
		経営科学	1名	

資格	部門	科目	人数	
一級建築士				4名
二級建築士				3名
コンクリート診断士				9名
道路橋点検士				26名
補償業務管理士		土地調査	10名	38名
		土地評価	2名	
		物件	9名	
		事業損失	6名	
		機械工作物	2名	
		営業補償・特殊補償	2名	
		補償関連	5名	
		総合補償	2名	
土地改良補償業務管理者				3名
測量士				37名
空間情報総括監理技術者				1名
1級土木施工管理技士				48名
1級造園施工管理技士				7名
1級建築施工管理技士				1名
上級土木技術者				1名
1級土木技術者				6名
農業土木技術管理士				3名
下水道技術検定（第1種）				2名
下水道技術検定（第2種）				6名
下水道技術検定（第3種）				2名
情報処理技術者		基本情報処理技術者		1名
		情報処理安全確保支援士		1名
		情報セキュリティスペシャリスト		2名
		情報セキュリティマネジメント		2名
		データベーススペシャリスト		1名
		プロジェクトマネージャー		1名
		応用情報技術者		3名
第2種ダム水路主任技術者				1名

ORGANIZATION | 組織図

